

評価結果

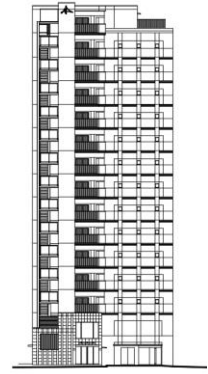


1-1 建物概要

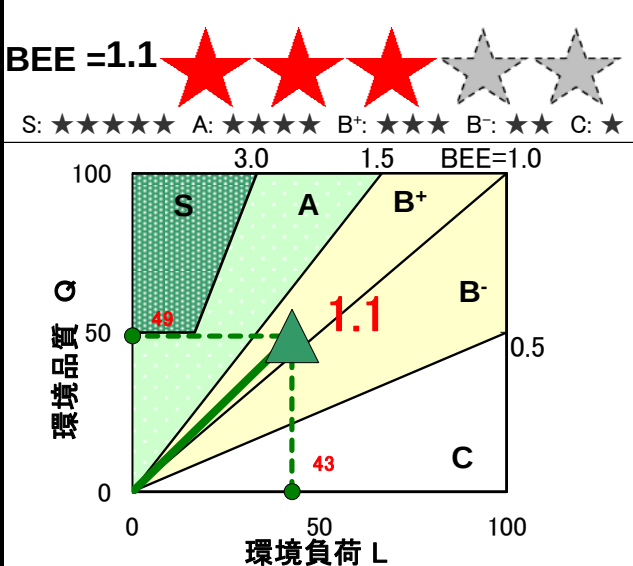
建物名称	(仮称)クリアホームズ鶴見町プロジェクト
建設地	広島県広島市中区鶴見町6-20
用途地域	近隣商業地域、準防火地域
気候区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2018年1月 予定
敷地面積	397 m ²
建築面積	233 m ²
延床面積	2,464 m ²

階数	地上14F
構造	RC造
平均居住人員	64 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年7月6日
作成者	株式会社都市建築研究所
確認日	2016年7月6日
確認者	株式会社都市建築研究所

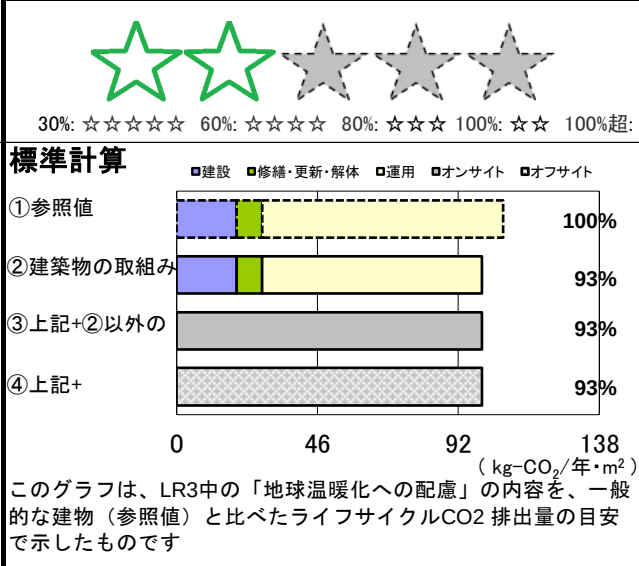
1-2 外観



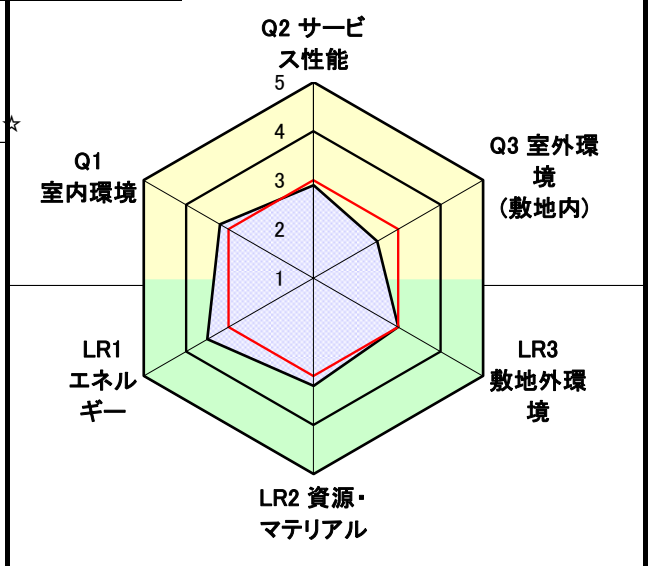
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



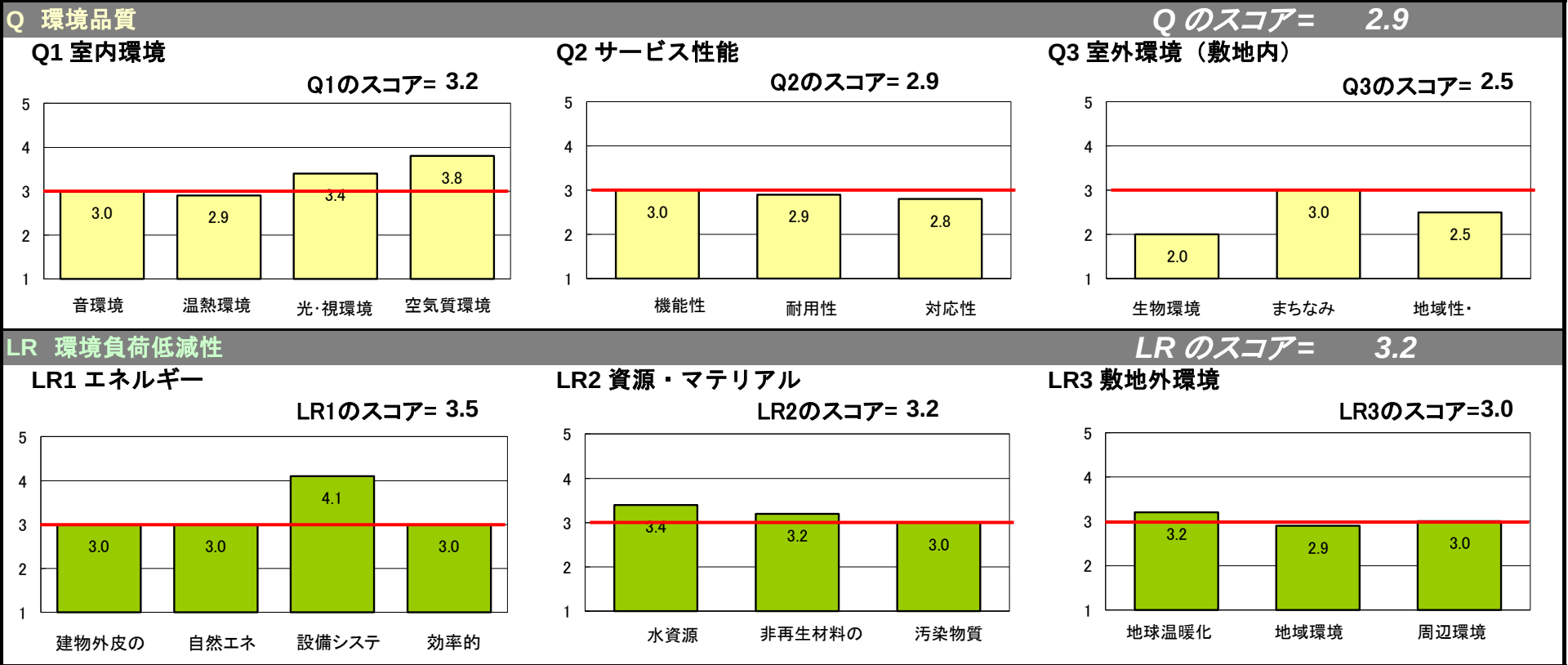
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.2		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.5	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.3	「長寿命化対策」の推進 スコア= 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 // LED照明設備の設置 // リサイクル材として、集成材、普通合板を使用 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB) / ライフサイクルCO2排出率=93%	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 内装仕上材は耐用年数の長いものを使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される